

2020年度

環境経営レポート



【対象期間】2020年5月～2021年4月

【発行年月日】2021年10月22日



認証番号 0004553

株式会社阿部製作所

目次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 対象範囲	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営活動計画	7
6. 取組結果とその評価	8
7. 環境経営目標の実績と評価	9
7. 1環境活動風景	10
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	11
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認	12
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	12

環境経営方針

基本理念

(株)阿部製作所は、環境負荷低減に取り組む世界の製造企業に金型及び部品を供給し、自社の生産においても環境に配慮した継続的改善を行うことで、顧客と共に、自然豊かな環境づくりに貢献する企業を目指し、同時に国連サミットに定める SDGs 目標の達成に貢献します。

行動指針

1. 事業活動に関連する環境関連法規則を遵守します。
⇒SDGs 目標 No.17 (行政、地域と協力して環境保全に取り組みます。)
2. 二酸化炭素排出量の削減に向け、省エネルギー活動に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.13 (気候変動抑制に具体的な対策に取り組みます。)
3. 省エネ機器、自動車の EV 化・HV 化・自動運転化に関連した受注フィールドへの新たな参入を目指し活動します。
⇒SDGs 目標 No.9 (環境に良い技術・仕事への挑戦を常に行ないます。)
4. 製品不良率の削減に取り組み、加工再製作に依るムダの排除に努めます。
⇒SDGs 目標 No.7 (エネルギーをムダなく大切に使用します。)
5. 分別の徹底と再資源化の推進に取り組み、廃棄物排出量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.14・No.15 (適正な廃棄物処理を厳守します。)
6. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.6 (節水に取り組み、使った水は適正に処理します。)
7. 製造工程で使用する、薬品・オイル類の適正管理に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.12 (環境に良い製品を使用し、グリーン購入にも取り組みます。)
8. この方針を全従業員へ周知すると共に、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。
⇒SDGs 目標 No.4 (全従業員が環境保全に取り組み、ことの重要性をよく理解できるような教育を実施します。)

制定日 2009年3月9日

改訂日 2021年5月21日

株式会社 阿部製作所
代表取締役社長 阿部 文三

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 阿部製作所

(2) 所在地

本社 岩手県北上市北工業団地 1 番 9 号

関連会社 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 蘇州市相城区東橋鎮潘陽工業園 B2-4

(3) 環境担当

管理責任者 高橋こずえ TEL 0197-66-3121 FAX 0197-66-3122

エコ委員長 伊藤健太 //

事務局 川原正明 //

(4) 事業活動の内容

プレス金型・モールド金型設計製作、各種装置部品および機械部品・治工具類の設計製作

(5) 事業活動規模

2020 年度 4 月決算

売上高 2 億 6 千万円 従業員数 40 名 建屋面積 3811 m²

(6) 社歴

昭和 36 年 9 月 個人会社阿部製作所創業

昭和 48 年 6 月 法人化改組「株式会社 阿部製作所」となる

昭和 63 年 3 月 北上工場建設開始 岩手東芝エレクトロニクス(株)様の協力工場となり
半導体後工程委託加工開始

平成元年 2 月 北上工場完成 花巻より北上市へ新築移転
金型工場金型製造部門稼働開始

平成 12 年 12 月 ISO9001 認証取得

平成 15 年 7 月 中国 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 稼働開始

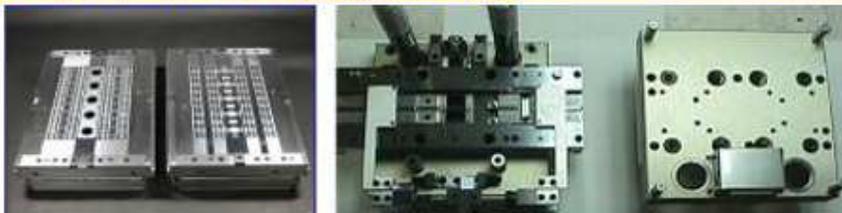
平成 20 年 12 月 ISO9001/2008 年度版へ移行

平成 22 年 1 月 エコアクション 21 認証・登録

平成 28 年 10 月 岩手県職業能力開発協会 技能検定促進功労賞 受賞

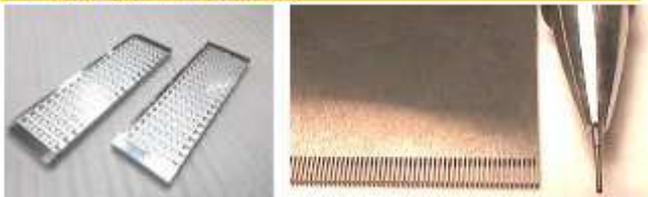
平成 29 年 12 月 ISO9001/2015 年度版へ移行

■ 精密モールド金型・精密プレス金型事業



千分の一ミリの精度を必要とする半導体・電子部品等の組立工程で用いる金型を設計～部品製作～組立・試打調整まで一貫して行っております。

■ 精密加工部品事業



金型の使用により磨耗した消耗部品、生産品種切り替えによる交換部品、その他特に厳しい精度の要求される単品部品等、部品単位での設計・製作・修理等にも対応しております。

■ 装置部品事業



各種装置を構成する機械加工部品・治工具等について多品種少量にて1個から、ピンセットで掴む超小物からクレーンで運搬する大物まで各種柔軟に対応しております。

3. 対象範囲

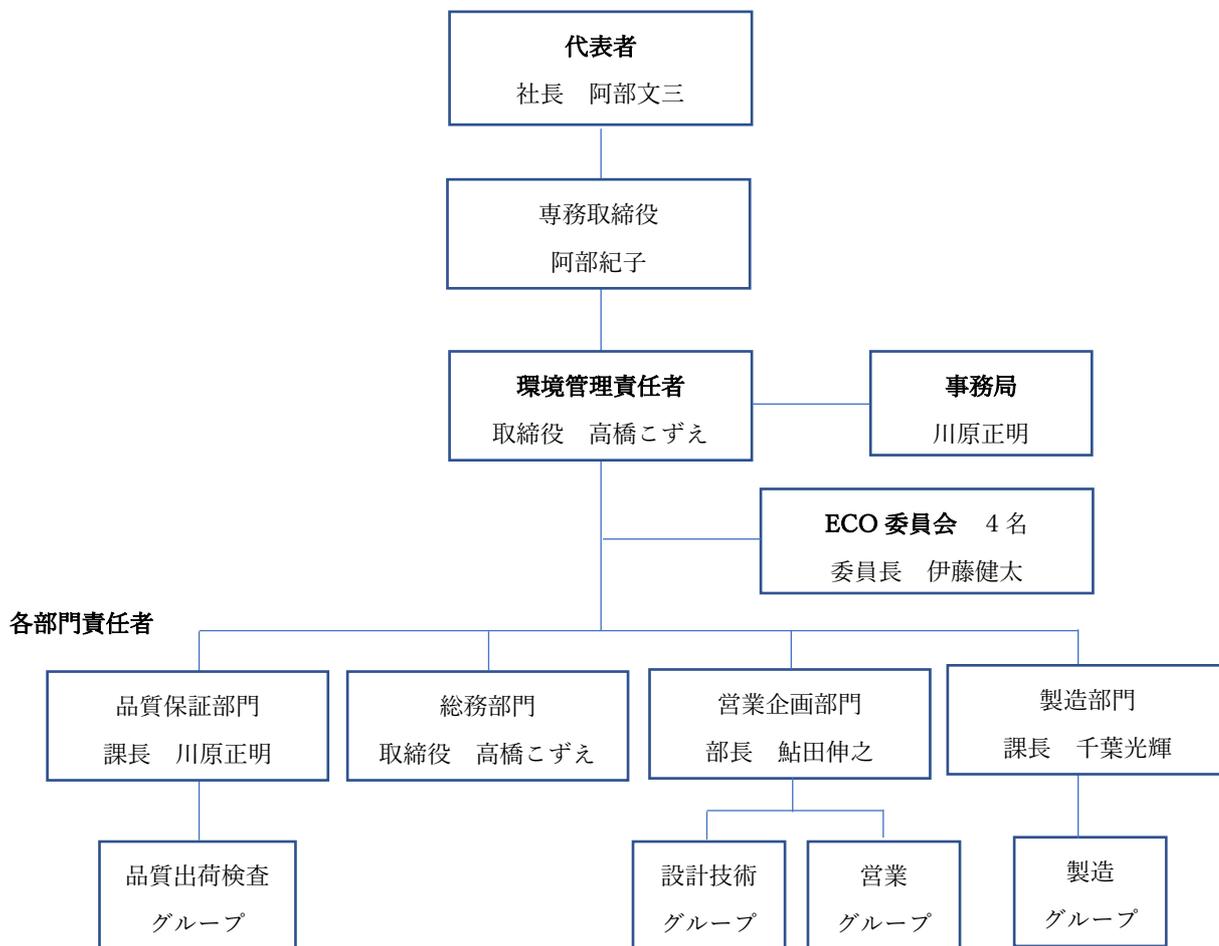
認証・登録範囲

(株)阿部製作所の全組織・全事業活動を対象としています。

対象期間

2020年5月1日～2021年4月30日

(株)阿部製作所 エコアクション21 実施体制図



役割	責任と権限
代表者	①代表者は経営における課題とチャンスを整理し明確にする。 ②代表者は環境経営方針を策定する。 ③代表者は実施体制を構築し経営資源の準備をする。 ④代表者は全体の評価と見直しおよび指示をする。
環境管理責任者	①代表者に代ってシステムを構築し運用する。 ②環境経営目標を決め、活動の実施状況を定期的に確認する。 ③代表者に結果を報告する。
部門責任者	①担当の部門において環境経営システムの実施および維持をする。 ②目標達成に向けた、省資源・省エネ・節水等に関する活動を奨励・実施、確認を行う。 ③従業員への教育訓練を実施する。
ECO委員会	①環境経営目標、省資源・省エネ・節水や、加工で使用する OIL 類の安全管理など、活動案を作成する。 ②各部門へ目標達成に向けた活動の推進および実施をする。 ③教育訓練の計画および実施をする。 ④各環境負荷データの収集・記録管理をおこなう。
全従業員	①部門責任者のもと環境方針の理解と目標達成に向けた省資源・省エネ・節水など環境負荷低減に努める。 ②決められたことは守り、環境活動へ積極的に参加する。
事務局	①環境管理責任者の補佐をする。 ②環境に関する外部コミュニケーションの窓口。 ③継続的な改善活動の推進による組織の活性化に努める。

4. 環境経営目標(期間:2020年5月~2021年4月)



項目	基準値	2020年度目標	2021年度目標
電力の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	492,050	492,050以下
ガソリン・軽油の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	12,614	12,614以下
灯油・LPGの二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	6,044	6,044以下
産業廃棄物排出量の削減	t	3.87	廃棄物の適正管理(分別、処分、再資源化)を継続し廃棄物排出量の数値をモニタリング
一般廃棄物排出量の削減	t	0.95	
水使用量の削減	m ³	453	節水の呼掛けなど活動を継続
製品不良率の削減(不良個数/検査個数)	%	0.65	0.50以下

- ・二酸化炭素排出係数は環境省(2018年)の東北電力実排出係数 0.528kg-CO₂/kwhを使用
- ・基準値は2016~2018年度3年間の平均値とする

弊社は二酸化炭素排出量の大半(9割)は電力使用量が主な環境負荷となっている。

2016年~2018年度3年間の電力使用量を見ると増減の割合は6%程だった。それ以前は半導体組立事業の生産量に応じて変動していたが、金型・装置部品加工事業一本となってからは変動も小さく、概ね必要最小限の電力使用量で推移している。

その状況を踏まえ、電力の二酸化炭素排出量削減の2020年度を含めた中期目標は、2016年~2018年の3年間の平均値以下を維持出来るよう、電力消費を抑制する活動を継続し行う事としている。

化石燃料については使用割合が少量であり、今後たとえば事業の変化による社用車の利用率変化やエコカー化、社屋内の空調機や厨房機器の入替など無い限り、大きな変動は無い為、電力同様3年間の平均値以下を維持出来るよう活動を行っていく。

廃棄物は、主に工作機械で使用する潤滑オイルの廃油や研削の加工汚泥、鋼材の購入や運搬で発生する木製パレット、容器、梱包材、分解で発生する廃プラなどに限られている。それらは工作機械のメンテナンス頻度、加工製品の生産数量に左右される為、排出量の数値は引続き管理するものの、数値目標は取りやめ、廃棄物の適正な処分と分別、再資源化の活動を継続的に行うことを目標とする。

総排水量の削減(節水)は、節水の活動を通して排水量(使用量)の変動は少なくなってきた状態であり、水はトイレ・手洗場、厨房のみで使用している生活用水であるため数値目標はやめ、節水や蛇口など、水回りの水漏れ点検を継続し行うことを目標とする。

5. 環境経営計画(期間:2020年5月~2021年4月)

作成:2020年5月21日 ECO委員長 伊藤 健太

環境経営目標	活動項目	取組内容	責任者	担当
電力使用量の削減	エアコンフィルター清掃	第一工場使用中のエアコン	伊藤 健太	ECO委員会、社員
	室内温度の適正管理	製造現場23±2℃ 検査室22±2℃ 事務所・会議室 夏27℃ 冬20℃		全社員
	デマンド値の監視	警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び、社員に周知	千葉課長・川原課長	事務所社員
	電力使用量のモニタリング	データまとめ(使用量・デマンド値)	伊藤 健太	伊藤 健太
	休憩時間や未使用室の消灯	照明機器の消し忘れ防止対策(掲示物)		ECO委員会
化石燃料使用量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	事務所・休憩室等の未使用時の暖房管理	暖房機器の消し忘れ防止対策(掲示物)	伊藤 健太	全社員
	エコドライブの実施	急発進と無駄なアイドリングをしない		
水使用量の削減	水道使用量のモニタリング	データまとめ	伊藤 健太	伊藤 健太
	水道凍結防止管理	適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)		伊藤 健太
	節水運動	節水の呼び掛け(掲示物)		全社員、ECO委員会
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ点検	環境点検チェックシートにて点検実施		ECO委員会
廃棄物の適正管理 リサイクル化	廃棄物分別処分(廃油・廃プラ・汚泥・木材等)	分別、処分作業	伊藤 健太	ECO委員会、社員
		マニフェストの管理		伊藤 健太
		処分量の岩手県報告	高橋取締役	高橋取締役
	廃棄物のリサイクル化	金属屑の分別、リサイクル化	伊藤 健太	全社員、ECO委員会
		廃棄物を可能な限り再資源化する為の調査	川原課長	伊藤 健太
処分先の視察	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)	高橋取締役	安全衛生委員会	
薬品・OIL類の適正管理	使用中の薬品・オイル、SDSの管理	安全使用の為のSDS管理	高橋取締役 伊藤健太	安全衛生委員会
	使用状況のモニタリング	使用量チェックシートによる購入・残量の管理		全社員
製品不良率の削減	段取り作業ミスの防止	段取り作業の標準化と工程内作業教育の実施	千葉課長 川原課長	全社員
				品質保証課
環境改善運動	フロン排出法の簡易点検	簡易点検チェックシートにて点検を行う。	高橋取締役	ECO委員会
	廃棄物置き場	環境点検チェックシートにて点検を行い異常箇所は処置を実施	千葉課長	ECO委員会
	環境関連施設			ECO委員会
	枯葉除去	屋上・敷地内の落葉拾い	千葉課長	安全衛生委員会
	ゴミ拾い	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い		安全衛生委員会
	第一工場動力室の維持・管理	コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持 室内の5S		
安全衛生委員会				
安全運動	全国安全週間	ポスター等による安全作業の呼びかけ	阿部専務	阿部 星千
	火災予防運動	避難訓練		安全衛生委員会
		消防署による火災・防災講習		
	交通安全運動	社有車のタイヤ・ワイパー交換		阿部専務
		社有車・社員の簡易安全点検		
工場設備点検	業者によるクレーン点検	阿部 星千		
教育・訓練	年間教育計画に沿ってセミナーや説明会等に 参加・実施(詳細は年間教育計画にて)	産廃物排出、処分業者説明会への参加	阿部専務	安全衛生委員会
		各種点検や廃棄物分別処分作業にてOJT		安全衛生委員会
	緊急事態の想定訓練	廃油等漏洩時の適切処理訓練		安全衛生委員会

※ 太字は新たに取組む活動内容

6. 取組結果とその評価(期間:2020年5月~2021年4月)

作成:2021年10月15日 ECO委員長 伊藤 健太

環境経営目標	活動項目	取組内容	結果	評価
電力使用量の削減	エアコンフィルター清掃	第一工場使用中のエアコン	社員の協力により低頻度ではあるが実施出来た。	△
	室内温度の適正管理	製造現場23±2℃ 検査室22±2℃	掲示物により日頃から意識することが出来た。	○
		事務所・会議室 夏27℃ 冬20℃	掲示物を増やしてさらに意識を高めることが出来た。	○
	デマンド値の監視	警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び、社員に周知	常に監視できていた。警報もなかった。	○
	電力使用量のモニタリング	データまとめ(使用量・デマンド値)	データ集計・まとめがしっかりできた。	○
	休憩時間や未使用室の消灯	照明機器の消し忘れ防止対策(掲示物)	昨年同様既存の掲示物による呼びかけだった。	×
化石燃料使用量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	事務所・休憩室等の未使用時の暖房	暖房機器の消し忘れ防止対策(掲示物)	掲示物を新たに設置して対策をすることが出来た。	○
	エコドライブの実施	急発進と無駄なアイドリングをしない	セミナーに参加することが出来たが周知ができなかった。	△
水使用量の削減	水道使用量のモニタリング	データまとめ	データ集計・まとめがしっかりできた。	○
	水道凍結防止管理	適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)	計画に沿って実施出来た。	○
	節水運動	節水の呼び掛け(掲示物)	既存の掲示物による呼びかけだった。	△
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ点検	環境点検チェックシートにて点検実施	新しい項目だったがチェックシートに沿って実施することが出来た。	○
廃棄物の適正管理 リサイクル化	廃棄物分別処分(廃油・廃プラ・汚泥・木材等)	分別、処分作業	廃棄する際に適正に分別できていた。	○
		マニフェストの管理	常に適正な管理ができていた。	○
		処分量の岩手県報告	例年通りに問題なく報告することができた。	○
	廃棄物のリサイクル化	金属屑類の分別、リサイクル化	有価物になるものはしっかり分別出来た。	○
		廃棄物を可能な限り再資源化する為の調査	昨年同様詳しく調査することができなかった。	×
処分先の視察	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)	実施することができなかった。	×	
薬品・OIL類の適正管理	使用中の薬品・オイル、SDSの管理	安全使用の為のSDS管理	現状保管量の把握とSDSの照らし合わせができた。	○
	使用状況のモニタリング	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	チェックシートの更新を行い管理できた。	○
製品不良率の削減	段取り作業ミスの防止	段取り作業の標準化と工程内作業者教育の実施	作業ミスが出た際にしっかりと問題解決に取組めた。	○
環境改善運動	フロン排出法の簡易点検	簡易点検チェックシートにて点検を行う。	計画に沿って実施出来た。	○
	廃棄物置き場	環境点検チェックシートにて点検を行い異常個所は処置を実施	同上	○
	環境関連施設		同上	○
	枯葉除去	屋上・敷地内の落葉拾い	同上	○
	ゴミ拾い	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	実施することができなかった。	×
	第一工場動力室の維持・管理	コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持		温度計の目視による確認のみだった。
室内の5S			これからも常に5Sに取組む必要がある。	△
安全運動	全国安全週間	ポスター等による安全作業の呼びかけ	計画に沿って実施出来た。	○
	火災予防運動	避難訓練	実施することができなかった。	×
		消防署による火災・防災講習	同上	×
	交通安全運動	社有車のタイヤ・ワイパー交換	計画に沿って実施出来た。	○
		社有車・社員の簡易安全点検	点検を行うことができなかった。	×
工場設備点検	業者によるクレーン点検	計画に沿って実施出来た。	○	
教育・訓練	年間教育計画に沿ってセミナーや説明会などに参加・実施 (詳細は年間教育計画にて)	産廃物排出、処分業者説明会への参加	セミナーに参加することが出来たが周知ができなかった。	△
		各種点検や廃棄物分別処分作業にてOJT	もう少し詳しく行う必要があると感じた。	△
	緊急事態の想定訓練	廃油等漏洩時の適切処理訓練	実施することができた。	○

評価 ○:よく出来た △:もう少し ×:実施出来なかった

7. 環境経営目標の実績と評価(期間:2020年5月~2021年4月)



項目	基準値	2020年度目標	2020年度実績	達成率(%)	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	492,050	446,198	110	◎
ガソリン・軽油の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	12,614	10,903	116	◎
灯油・LPGの二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	6,044	12,707	48	×
産業廃棄物排出量の削減	t	3.87	分別や処分の適正管理は継続実施 産廃6.27t 一般廃棄1.40t		
一般廃棄物排出量の削減	t	0.95			
水使用量の削減	m ³	453	活動継続実施出来た 475m ³		
製品不良率の削減(不良個数/検査個数)	%	0.65	0.50	104	○

・二酸化炭素排出係数は環境省(2018年)の東北電力実排出係数 0.528kg-CO₂/kwhを使用

・評価方法 達成率=(目標/実績)×100 [110%以上:◎ 100%以上110%未満:○ 100%未満:×]

電力のCO₂排出量に関しては、目標を達成することが出来、ガソリン・軽油など社用車の燃料についても減少した。しかし達成要因は、コロナ禍に依る受注減少によって生産活動が低迷した事の影響が大きかった。日々の取り組みの中での、エアコンなど空調機器の適正温度管理や照明機器の消し忘れはほぼ無く定着出来ている。

灯油・LPGのCO₂排出量に関しては目標未達となった。理由は遊休建屋の有効活用として空きスペースの賃貸運用を始めたので、未使用だった暖房機器の日々の使用によるものであり、今後目標値設定を見直したい。

廃棄物排出量は、産廃、一般廃棄物ともに増加。売上高の大幅な減少を少しでも埋める為に、上記同様、遊休建物を有効に活用すべく、スペース確保に向けた、機械や備品、クリーンルーム解体などにより、廃プラ・金属クズ類が一時的に発生した為である。

定期的な産廃回収やそれに向けた分別と可能な限りのリサイクル化は良く出来た。

水使用量は大きなトラブルも無く横ばい。引き続き節水の呼掛けなど継続する。製品不良率に関しては目標達成。

不況を乗り越える為の勤務変更対応などで、環境改善活動は必要最小限での活動であった。計画通りに出来なかった教育やその他取組については時期を見ながらおこなっていききたい。

ECO委員会

**現場で使う化学物質の保管棚を新たに設置して
チェックシートによる管理の強化をしました！！**



環境美化として会社敷地内の草とりを社員のみなで行いました！！



**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策で
来客への検温及び質問用紙の記入をお願いしております。**



事務所・休憩室などの空調機器の推奨温室度の掲示を一新！！

推奨温湿度			
事務所・会議室・休憩室			
夏		冬	
温度	湿度	温度	湿度
27℃	50%前後	22℃	40~60%
温度40%以上を保つとウィルスが活動しにくくなります。 60%以下を保つと防カビになります。			
上記温湿度を目標に室内の空調機器の設定をしてください。			
熱い・寒いと感じたら温湿度を確認し、調機器の設定を行きましょう。			

消し忘れ注意

時・部屋未使用
時・退出時消

暖房推奨温湿度	
事務所・会議室・休憩室	
温度	湿度
22℃	40~60%
上記温度を目標に室内の空調機器の設定をしてください。	
熱い・寒いと感じたら温湿度を確認し、空調機器の設定を行きましょう。	
消し忘れ注意	
部屋未使用時・退室時消しましょう。	

8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(期間:2021年5月~2022年4月)

作成:2021年5月24日 ECO委員長 伊藤 健太

環境活動目標	活動項目	取組内容 (赤字は今年度追加)	責任者	担当
電力使用量の削減	エアコンフィルター清掃	第一工場使用中のエアコン	伊藤 健太	ECO、社員
	室内温度の適正管理	製造現場23±2℃ 検査室22±2℃		全社員
		事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃		
	デマンド値の監視	警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び、社員に周知	千葉課長 川原課長	事務所社員
	電力使用量のモニタリング	データまとめ(使用量・デマンド値)	伊藤 健太	伊藤 健太
	休憩時間や未使用室の消灯	照明機器の消し忘れ防止対策(掲示物)		ECO
化石燃料使用量の削減 (ガソリン・軽油・灯油 ・LPガス)	事務所・休憩室等の未使用時の暖房管理	暖房機器の消し忘れ防止対策(掲示物)	伊藤 健太	全社員
	エコドライブの実施	急発進と無駄なアイドリングをしない		
水使用量の削減	水道使用量のモニタリング	データまとめ	伊藤 健太	伊藤 健太
	水道凍結防止管理	適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)		伊藤 健太
	節水運動	節水の呼掛け(掲示物)		全社員、ECO
	手洗い場・トイレ・厨房の水漏れ点検	環境点検チェックシートにて点検実施		ECO
廃棄物の適正管理 リサイクル化	廃棄物分別処分(廃油・廃プラ・汚泥・ 木材 等)	分別、処分作業	伊藤 健太	ECO、社員
		マニフェストの管理	伊藤 健太	伊藤 健太
		処分量の岩手県報告	高橋取締役	高橋取締役
	廃棄物のリサイクル化	金属屑類の分別、リサイクル化	伊藤 健太	全社員、ECO
		廃棄物を可能な限り再資源化する為の調査	川原課長	伊藤 健太
処分先の視察	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)	高橋取締役	SEC	
薬品・OIL類の適正管理	使用中の薬品・オイル、SDSの管理	安全使用の為のSDS管理	高橋取締役	SEC
	使用状況のモニタリング	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	伊藤健太	全社員
製品不良率の削減	段取り作業ミスの防止	段取り作業の標準化と工程内作業教育の実施	千葉課長 川原課長	全社員 品質保証課
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	関連製品の製造技術習得に向けた挑戦	車載用・産業機器用パワー半導体金型、5G用・データセンター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施し、新規受注の獲得を狙う	鮎田部長 千葉課長	放電工程 営業企画部
環境改善運動	フロン排出法の簡易点検	簡易点検チェックシートにて点検を行う。	高橋取締役	ECO
	廃棄物置き場	環境点検チェックシートにて点検を行い異常箇所は 処置を実施		ECO
	環境関連施設			ECO
	枯葉除去	屋上・敷地内の落葉拾い	千葉課長	SEC
	ゴミ拾い	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い		SEC
	第一工場動力室の維持・管理	コンプレッサー安定稼働温度0~40℃の維持 室内の5S		阿部 星千 SEC
安全運動	全国安全週間	ポスター等による安全作業の呼びかけ	阿部専務	阿部 星千
	火災予防運動	避難訓練		安全・衛生
		消防署による火災・防災講習		
		消防設備・避難経路の配置図作成及び周知		
	交通安全運動	社有車のタイヤ・ワイパー交換 社有車・社員の簡易安全点検		
工場設備点検	業者によるクレーン点検	阿部 星千		
教育・訓練	年間教育計画に沿ってセミナーや説明会 などに参加・実施(詳細は年間教育 計画にて)	産廃物排出、処分業者説明会への参加	阿部専務	SEC
		各種点検や廃棄物分別処分作業にてOJT		SEC
	緊急事態の想定訓練	廃油等漏洩時の適切処理訓練		安全・衛生
環境監査対応	環境活動レポート作成・発行	まとめ・作成・発行	高橋取締役	各役職者・SEC
	エコアクション21監査	定期的に監査を受審	阿部社長	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境基本法など、環境関連法規のついて遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。但し、廃棄物の処分委託先定期視察が出来なかったため、今後計画的に実施致します。

また過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について、問題はありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し

項目	評価	改善及び指示
環境経営方針	前回の監査でアドバイスを受けた SDGs 目標と当社の環境方針との関連を明確にし、同時に取り組む必要性を時勢から感ずる事多し。	環境経営方針の「行動指針」の各項目において該当する SDGs 目標を対応させ、やるべきことに差異はないことを理解させ周知を行なった。
環境経営目標	今期はまさに未曾有のコロナ不況のまっただ中(社員一人平均 52 日間帰休実施)であり、何が適正な目標なのか誰にも判断できない状況だったと思う。	丁度、次期がスタートする 2021 年 5 月からは正常な事業活動に戻ったと判断する。中期の目標設定に戻る中で、灯油等の消費構造が変わっているため、見直すこと。
環境経営計画 および 実施体制	上記の理由により、正常な事業活動が行われたとは言えず、年間の活動計画の未実施はやむを得ず、しかし、システムは問題なく維持されていると考える。	前期の指示と同様ですが、コロナは完全収束したわけではないので、身の安全を優先したうえで、当期実施評価×及び△項目の改善をお願いします。

全体評価

未曾有のコロナ不況に見舞われ、年間売上高 2 億 6 千万円は、当社 33 年ぶりの最低金額となった。したがってエネルギーの使用量も減少して当然で、そちらの要因の方がむしろ大きかったと思う。しかし、このような苦境の中 1 人のリストラもせず経営システムを維持できたことは、長年掲げてきた品質方針や環境方針が正しかったことを証明し、社員全員の自信につながったと思う。来期は、環境経営方針にも掲げた省エネパワー半導体向け金型等の受注が大幅に拡大し、売上は加速度的に回復する見込みです。より効果的な生産を追求し、ムリ、ムダ、ムラのないスマートな(結果としてエコな)会社を目指しましょう。

以上